

平成 22 年 1 月 4 日
日興コーディアル証券株式会社

「2010 年 年頭所感」(要旨)

日興コーディアル証券株式会社 代表取締役社長 渡邊英二

明けましておめでとうございます。

この年末年始は東京証券取引所の次世代システムへの切り替えがありましたが、システム関係の方々には、この間も休みなくご対応頂き、本日、無事初日を迎えております。本当にご苦労様でした。

さて、昨年 10 月 1 日に、新しい日興コーディアル証券としての業務を開始してから、ちょうど 3 ヶ月が経過しました。当社に対するお客様のご期待に応えていく上で、今年は大切な年になると考えています。

本日より三井住友銀行との法人向け仲介業務の開始、4 月には個人向け仲介業務の開始を予定しており、これまでのお客様紹介に加えて、三井住友フィナンシャルグループとの連携、お客様との接点がますます広がります。

信頼に応えるためにも、今年一年の世界経済、日本経済の情勢を見極めながら、お客様に対し質の高い提案や商品提供をよりスケール大きく継続して欲しいと思います。

また、ホールセール部門においては、シティとの連携を通じた戦略的連携を図る一方、国内外でのビジネス基盤作り、体制固めをより一層スピード感をもって進めて参ります。

ホールセール部門にはさまざまなビジネス分野がありますが、ホールセールビジネスによる商品供給力と、当社が誇る強力なリテール部門での販売力は、総合証券会社の基本をなすと考えています。

現在、各部門の戦略を集約し、これから 3 ヶ年の中期計画を策定中ですが、目指すところは、三井住友フィナンシャルグループとともに、「本邦 No.1 の証券会社」を目指してその第一歩を踏み出すということです。

今のような時代だからこそ、物事の明るい側面に着目し、前向きに行動することが、道を開くことに通じると思っています。「躍進の年」をキーワードに、失敗を恐れない前向きさを今年の生き方として、全員で大きな仕事にチャレンジしていきましょう。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以 上